



おまけは福  
 寺のまじり  
 言

先、柑子より別封  
 一軸は之を  
 左に之を  
 右に之を  
 中より特に出すは  
 習字の如く  
 弟一と云ふも  
 其後、知己  
 朝、馬の下に  
 我、流を  
 たるもの  
 法則もよく  
 あり、は  
 閑矣



其後子知己反人  
朝罵の下に一時  
我懐をかりぬ  
たふもの即是之にてい  
法則もよく曲、校も  
よきところは欄矣  
のト

十一月五日

會津郡

市山々々々々  
五又

先生曰は 古のまらと  
う山考カ、のまらと 酒飲の  
仰さぬ、一も、は我懐と  
我懐とのまら、何にや、此取  
に、ソ、ま、の、行、我、と、  
星了、こ、ろ、新、明、の、  
ま、り、